



平成30年7月6日

地域の農業を見て学ぶ現地研修を実施

～剣淵高校1年生が参加～

旭川開発建設部名寄農業開発事業所では、農業を担う人材育成のための教育支援として、北海道剣淵高等学校1年生（29名）を対象に、下記のとおり農業施設を見て学ぶ現地研修を実施します。

剣淵高等学校への教育支援は、旭川開発建設部の出前講座として、関係機関（※）と連携の上、平成20年度から毎年度実施しているものです。

今回は、国営農地再編整備事業「上士別地区」の大区画ほ場をはじめ、普段見る機会の少ない地域の基幹的な農業施設を間近で見学していただき、その役割を理解していただくことを目的に開催します。

※関係機関 上川総合振興局北部耕地出張所、てしおがわ土地改良区、JA北ひびき

記

日時： 平成30年7月10日（火）9時30分～12時20分

場所： ①岩尾内ダム、②上士別地区、③剣和頭首工、④堆肥製造施設「めぐみ野士別」（別紙参照）

参加者： 北海道剣淵高等学校1年生29名

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

名寄農業開発事業所 所長 中村 英人（01654-3-4637）

副長 土肥 諭志（01654-3-4637）

旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式Twitterアカウント @mlit_hkd_as



地域の農業を見て学ぶ現地研修の位置図

(平成30年7月10日)



昨年の現地研修の様子(平成29年7月12日)

生徒たちは、地域農業に関わる
色々な施設を初めて見て、知識が
広がったようです。



④堆肥製造施設 めぐみ野



①岩尾内ダム



②上士別地区工事現場



③剣和頭首工
(雨のためバス内で説明)

